



慶應義塾維持会

News Letter

2013年9月
No.6

日頃は慶應義塾維持会の活動にご理解を賜り、心より御礼申し上げます。現在、維持会員は約45,000名を数え、会員皆様のご厚志により維持会基金は約32億円に上っております。慶應義塾のさらなる発展、また義塾で学ぶ優秀な塾生のために、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。また維持会を通じて義塾との絆を一層深めていただければ幸いです。

2012年度の維持会事業についてご報告いたします。

維持会事業費 61,239,004円

□奨学支援事業「慶應義塾維持会奨学金」
40,750,000円

252名の応募があり、厳正な審査を経て、30都道府県・70名の塾生に支給しました。

□東日本大震災により被災した塾生への奨学金
17,489,004円

義塾では、2011年度に「慶應義塾東日本大震災被災塾生特別奨学金」を創設し、学業の継続が困難になった塾生に対し経済的支援を行っています。2012年度は、延べ191名の塾生に対して総額9,865万円を給付しました。維持会からの資金の一部を助成しました。

□「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金
3,000,000円

「福澤諭吉記念文明塾」は、義塾の原点を見つめ未来貢献を志す先導者を育てるべく創立150年記念事業の一環として開講されました。これからの社会で求められるリーダーシップについて対話と議論を通じて考える場を、塾生、塾員に限らず学ぶ志のある全ての人に提供しています。また、福澤諭吉記念文明塾での成果を発信することにより、学ぶことの楽しさを社会全体に広める取り組みを行っています。維持会からこの資金を助成しました。



2012年度 慶應義塾維持会 収支決算

(単位：円)

収入の部	寄 付 金	192,298,128	
	維持会基金運用収入	62,489,004	
	(1) 収入の部合計	254,787,132	
支出の部	維持会事業費	奨学支援事業	40,750,000
		その他の財政支援事業	20,489,004
	管理経費	会員用三田評論諸経費	16,454,975
		事務経費	16,081,189
		(2) 支出の部合計	93,775,168
	収支差額 (1)－(2)		161,011,964
(3) 年度末維持会基金残高		3,285,462,194	

(1)収入の部
新規入会756件、継続7,301件、計8,057件の寄付金と維持会基金運用収入により254,787,132円となりました。

(2)支出の部
奨学支援事業：「慶應義塾維持会奨学金」に40,750,000円を充当しました。

その他の支援事業：東日本大震災により被災した塾生への奨学金・「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金として計20,489,004円を助成しました。

管理経費：会員への『三田評論』発送郵便料等、維持会勧誘に伴う趣意書等作成費・DM発送郵便料等として計32,536,164円を支出しました。

(3)維持会基金残高
収支差額161,011,964円を全額維持会基金に組み入れた結果、残高は3,285,462,194円となりました。
昨今の経済状況において運用益が減少する場合でも、維持会事業が遂行できるよう財政基盤を強化します。

2013年度の維持会事業についてお知らせいたします。

維持会事業費予算 62,423,781円 (2012年度末維持会基金残高3,285,462,194円の運用益)

□奨学支援事業「慶應義塾維持会奨学金」
52,500,000円

維持会奨学金の一層の充実のために、2013年度より20名増員しました。301名の応募があり、計35都道府県・90名の塾生に支給することが決定しました。

□キャンパスの施設整備資金
4,923,781円

塾生の教育・課外活動等における環境を一層充実させるため、矢上キャンパス創々館南側テラスに椅子・テーブルを設置します。また、日吉キャンパス図書館内のサインの工事費に対して維持会から助成します。

□障がいのある学生への学業奨励金
1,500,000円

義塾では、これまでに授業支援、塾生ボランティアによるサポート、利用施設の改善等の修学支援を実施してきました。このたび、特に重度の障がいがあると認められた学生のうち、学習上特別な支出が必要となり経済的に学業に専念することが困難な者に対して、学費充当とする学業奨励金にて支援を行うこととしました。維持会からこの事業に助成します。



□「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金
2,500,000円

未来貢献のために学ぶという志を持った学生と社会人を集め、「対話と議論」を中心とした3ヶ月の教育プログラムを年2回開講しています。2012年度に引き続き維持会からこの資金を助成します。

―詳しくはこちら―
◆公式Webサイト
<http://www.fbj.keio.ac.jp/>
◆コア・プログラム講義録
<http://member.fbj.keio.ac.jp/kogiroku/>

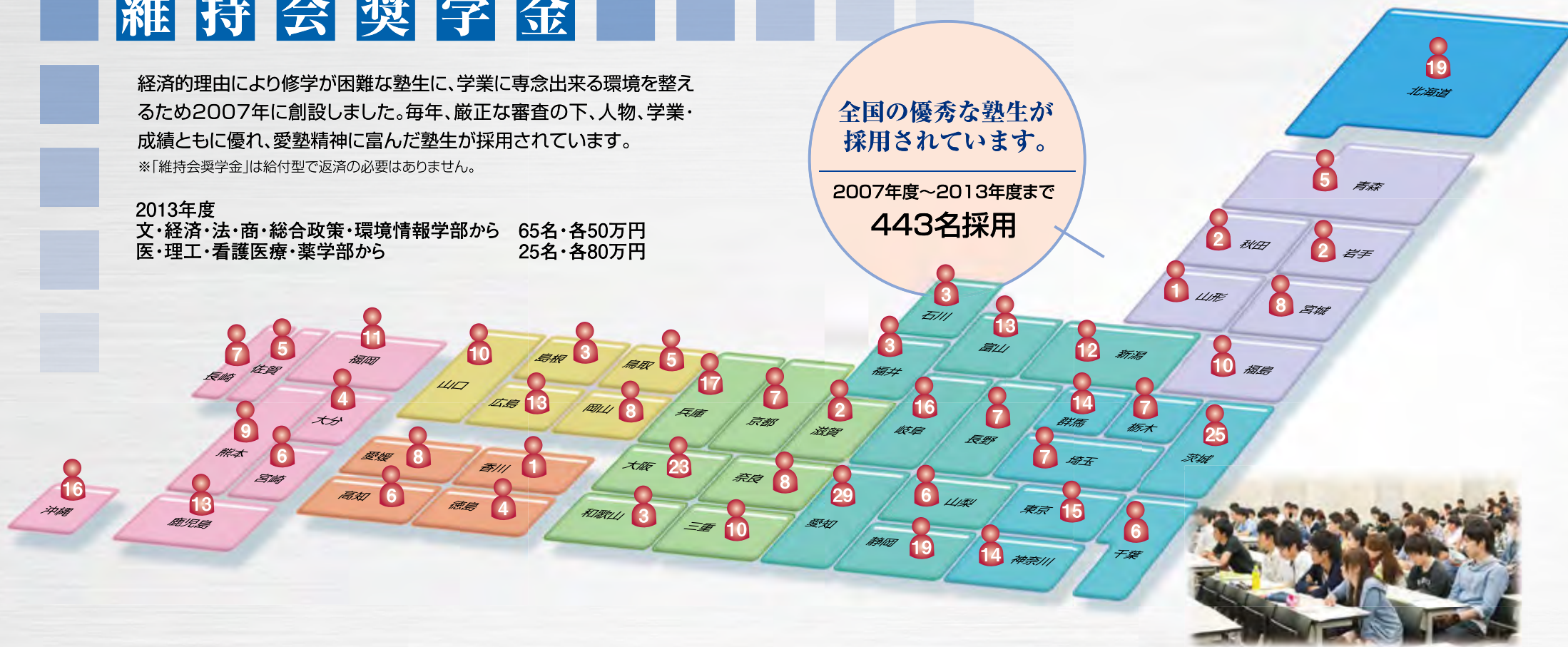
□アントレプレナー支援資金
1,000,000円

アントレプレナー支援資金は、義塾の学術的研究活動によって生み出された研究成果の社会的活用を目的に2003年に制定されました。義塾の知的財産権の実用化に際して設立されるベンチャー企業1社に対して最大100万円の出資を行います。

―詳しくはこちら―
◆慶應義塾大学研究連携推進本部
<http://www.rcp.keio.ac.jp/sip/activities/incubation/venture.html>

※その他

・メディアデザイン研究科	・政策メディア研究科
・システムデザイン・マネジメント研究科	・獣医畜産専門学校（～S24）
・経営管理研究科	・高等部（～S21）
・社会学研究科	・特選塾員
・健康マネジメント研究科	



この度は慶應義塾維持会奨学金の奨学生に選んでいただき誠にありがとうございます。

大学生活を一年間送り、今までの学校での勉強や受験勉強とは違った学問との出会いが多くありました。それに伴い学問をする時間というもの大切さを実感しました。奨学金による援助のおかげで昨年度も、アルバイトに追われてばかりの生活とはならないで済みました。わたしは2年生になり、哲学を専攻しました。また、美術や美学にも興味があるので学芸員の資格の取得を目指しています。今までの大学の講義での勉強に加え、自ら知識を深めていくための勉強が必要であると感じました。1年生の頃よりも語学の予習・復習、読書の時間や来年度からの研究会を見据えた勉強が大事になってきました。もし、この度の奨学金がなければ、わたしはアルバイトに明け暮れることとなったでしょう。そうはならず、勉強する時間を確保できることを心から感謝しています。そして、家族やその他大勢の人の協力があって、自分が勉強できる環境にあることを忘れず、学問に励んでいきたいと思っています。

北海道出身 文学部 2年

この度は、慶應義塾維持会奨学金に採用頂き、誠にありがとうございました。

私は現在、研究会活動を中心に、大変充実した大学生活を送っております。研究会活動の主な内容は卒業論文の執筆ですが、3年時に同期の仲間とディベートに切磋琢磨した際の問題意識をもとに、自分の思いを言葉にするという作業は、私としては初めての経験であり、その難しさに苦悶することもあります。知的好奇心を掻き立てられ、図書館にこもって勉強する毎日が続いております。

進路につきましては、第1志望から無事内々定を頂くことが出来ました。建築関係の事業を営んでいた父の背中を見て育った私としては、幼い頃からの1つの目標を達成することが出来、安心するとともに来年から始まる社会人生活に向けて、一層気持ちの引き締まる思いです。現在は、私が大きく成長するための機会を提供してくださった慶應義塾への感謝の思いでいっぱいです。将来的には、私も優秀な義塾の後輩のために、何らかの形で支援していくことが出来ればと思います。

愛知県出身 法学部 4年

この度、慶應義塾維持会奨学金の奨学生として採用させていただきまして、誠にありがとうございます。当奨学金を頂くにあたって、より一層慶應義塾の学生として誇りを持ち、引き締まる思いであります。今まで以上に勉学に励み、塾生として慶應義塾の発展を担う責任を感じています。

この奨学金は、主に学費の補填や生活費に当てたいと思います。また、私が今学びたいと思っている電子回路系統の書籍を購入したいと考えています。

当奨学金を頂いたからには、義塾の発展に寄与できるような人材になりたいと思っています。私は、LSIなどの回路系統の分野に興味があり、その分野の研究室に所属したいと考えています。慶應義塾の電子工学科には、素晴らしい功績を納めている研究室があります。4年生になったらこれらの研究室に入り、回路の基礎を学びたいと思っています。その後、義塾の大学院に進学し、より専門的な内容を取り扱い、日本だけでなく世界の先頭にたてるような研究者になりたいと考えています。

静岡県出身 理工学部 3年

この度は、私を慶應義塾維持会奨学金の奨学生として採用していただき誠にありがとうございました。私は高校卒業後、海外の様子を知り、世界各国の人たちと触れ合っていたい、そして自分の語学能力を向上させたいと思い、自分で留学資金を稼いでオーストラリアへ半年ほど私費留学をしていたことがあります。現地では語学学校へ通うかわら、難民孤児のキャンプを訪れるなどして自分なりに社会全体に対する見識を深められたと思っています。そうした経験を踏まえて自分の将来のことを考えたとき、幼少の頃から関心のあった歴史学、とりわけ日本史学を本格的に修めたいと考え、学ぶ環境が充実しており、国内外で高い評価を得ている慶應義塾大学への入学を決めました。海外での経験と歴史学は一見全く関わりのないようにも取られますが、私は自分が海外で得た感性や、知見、そして英語能力などは決して無駄ではないと思っています。私は一般に外に向かって開かれていない、虚学として考えられがちな歴史学をより開放的な学問にしていくことに貢献したい、研究に打ち込むだけでなく、若い世代を中心に歴史の魅力を知ってもらうことに役立ちたいと思って、日々学業に励んでいます。

奈良県出身 文学部 1年

2013年度
維持会奨学生からの
感謝のメッセージ
(掲載内容は一部抜粋しております。)

この度は慶應義塾維持会奨学生として採用して頂き、まことにありがとうございます。慶應義塾の絆の大きさ、深さを実感し、私もこの一員であることを誇りに思っております。

女手一つで母がここまで育ててくれましたが、やはり金銭的に苦しく、農家を営んでいる祖父が学費を払ってくれています。毎日一日も休まず働く祖父を見て、ど

うにかして祖父の負担を軽減したく維持会様の奨学金に応募させていただきました。今回いただいた奨学金はすべて学費にあてさせていただきます。私はこの大学4年間で広い視野を身につけることを目標としており、その第一歩として今はフランス語を週4のクラスで勉強しています。そして脳科学に興味があるので、さっそく秋から研究会に入って専門的な勉強を始めたいと考えております。また、ドイツ語、イタリア語も順々に勉強していくつもりです。一日一日を大切に過ごし、母、祖父、そして維持会の皆様へ、私が大学生活を送れることへの感謝を忘れずに精進して参りたいと思います。

山梨県出身 環境情報学部 1年

この度は慶應義塾維持会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。平成23年3月に発生した東日本大震災は私の人生に大きな影響を与えました。震災をきっかけに自分自身の人生を改めて考え直し、看護師を目指すそうと志しました。そして入試を突破し、慶應義塾大学で学ぶ機会を得ることができました。しかし私達医療学部での学業のため、アルバイトをする時間もあまり取れないという状況でした。今回頂戴しました奨学金は授業料等の学費に充てさせていただきます。そうすることで、学びの環境がより安定した充実したものとなり、今、目標へ向けて更に努力を積み上げようという気持ちが沸き上がっています。私は学部を卒業後、看護師になります。現在終末期医療に興味があり、緩和ケアに携わりたいと考えています。一人ひとりの人間のための医療人として社会に貢献していきたいです。そして慶應義塾の名に恥じぬよう、義塾の更なる発展に寄与できるよう成長し、いつの日か慶應義塾の後輩の学びの助けともなりたいです。

茨城県出身 看護医療学部 2年



宮城県南三陸町には 慶應義塾の学校林 「慶應義塾の森」が あります。



慶應義塾維持会では、東日本大震災復興支援と環境保全の取り組みとして、この「慶應義塾の森」で発生した杉間伐材を使用し、南三陸地域の人々の働く工房でオリジナルグッズを作成しました。皆さまの想いが、みどり豊かな東北を再生する。そして、想いがどんどん重なって東北の笑顔が増えていきます。

間伐（かんばつ）とは、健全な森林を保ち、材の成長を促すために、込み合った木や弱った木を間引く作業のことをいいます。間伐で得られた材は「間伐材」とよばれ、間伐材を有効活用していくことで、豊かな森林が育まれていきます。

慶應義塾の取り組みについては以下をご覧ください。

「慶應義塾南三陸プロジェクト」

<http://www.keio.ac.jp/ja/society/eq/index.html>

維持会お申し込みキャンペーン

● 南三陸復興支援

■ キャンペーン期間：2013年7月1日から2014年6月末日まで

期間中お申し込みいただいた方へお贈りします

■オリジナル「携帯スタンド」

普通会員（新規・継続）、既終身会員（追加）

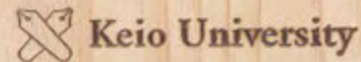
30万円未満

飾り盾としてご使用いただくこともできます。



■オリジナル「フォトフレーム」

終身会員（30万円以上）



慶應義塾維持会 News Letter No.6

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL.03-5427-1545 FAX.03-5427-1546

E-mail:kikin-box@adst.keio.ac.jp
<http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/>

発行日 2013年9月10日

発行 慶應義塾基金室 維持会担当

●ご意見・ご感想をお寄せください。